東京工業大学高度人材育成博士フェローシップ申請書

申請日 年 月 日

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 東京工業大学長　殿  私は，本フェローシップの募集要項の全記載内容について同意・了承の上、受給者として採用願いたく，下記の記載事項に相違ありませんので，ここに申請いたします。  **申請者氏名（自筆）**  <注意>重要なお知らせは原則東工大の共通メールアドレス（ドメインがm.titech.ac.jp）へお送りします。携帯で確認をする場合は各自転送設定を行い，転送先の変更等があった際は必ず設定の確認をするようにしてください。 | | | | | | | | | | | |
| 学籍番号 | |  | | | | 国　籍 | | |  | | |
| フリガナ | |  | | | | 生年月日 | | | (西暦) 年 月 日生 | | |
| 氏 名 | |  | | | |
| 住 所 | | 〒　　　　- | | | | | | | | | |
| 電話番号 | |  | | 東工大Email（★） | | | |  | | | ＠m.titech.ac.jp |
| 現所属 | | 学院　　　　　　　　系　　　　　　　コース | | | | | | | | | |
| 入学年月 | | (西暦) 　　 年 　月 | | | 修了予定 | | | | （西暦）　　　　 年 　　　月 | | |
| 研究室名 | | 研究室 | | | キャンパス（該当に〇） | | | | 大岡山・田町・すずかけ台 | | |
| 応募資格確認・採用された場合の義務確認欄（各項目を確認し，チェックする） | | | | | | | | | | | |
| 本人 | * ①他の受給を制限する奨学金等は現在受給していません。なお卓越教育院等に所属している場合は下記に申告します。 | | | | | | | | | | |
| * ②現在，社会人として所得はありません（例：正社員として企業に所属している者，個人で事業を運営し所得を得ている者等） | | | | | | | | | | |
| * ③応募資格を正しく理解し，支給途中で資格喪失した際には速やかに辞退を申し出ます。 | | | | | | | | | | |
| * ④本申請書の内容に虚偽があった場合，大学から研究費・研究専念支援金の返納要求があれば返納に応じます。 | | | | | | | | | | |
| * ⑤本事業に関連する研究の進捗について指導教員との面談を年２回行うことを同意します。 | | | | | | | | | | |
| * ⑥採用された場合は本申請書で申請する研究活動に専念することに同意します。 | | | | | | | | | | |
| * ⑦採用された場合はメンターによる研究支援・キャリアパス支援のための面談を定期的に受けることに同意します。 | | | | | | | | | | |
| * ⑧採用された場合は指定された研究会やセミナー等に参加しかつ指定された教育プログラムを履修します。 | | | | | | | | | | |
| * ⑨採用された場合は修士課程以下の学生のための研究会やセミナーを年１回開催し報告します。 | | | | | | | | | | |
| * ⑩採用された場合は本フェローシップ学生としての義務の実施状況をまとめ年２回報告書として提出します。 | | | | | | | | | | |
| * ⑪スマート社会の創出やその基盤となる科学技術の発展に寄与する意志を有しています。 | | | | | | | | | | |
| 教員 | ①～④について，相違ないことを確認し，⑤に同意します。 | | | | | | 指導教員署名: | | | | |
| 他奨学金・  フェローシップ等の  応募状況 | | 他の受給を制限する奨学金やフェローシップなどに応募済み・応募予定の方は，下記も記入。（つばめ奨学金は除く） | | | | | | | | | |
| 奨学金等名称 | | | | | | | | 応募状況 | |
|  | | | | | | | | 応募済・応募予定 | |
|  | | | | | | | | 応募済・応募予定 | |
|  | | | | | | | | 応募済・応募予定 | |
| 学内での所属・受給状況  （右記に所属もしくは右記の支援を受けている場合はチェックを入れてください） | | | * リーダーシップ教育院 * 卓越教育院（具体名：　　　　　　　　　卓越教育院） * リサーチフェロー（学院等名：　　　　　　　　） | | | | | | | | |

【研究計画】

（図表を含めてもよいので、分かりやすく記述してください）

（年２回，この計画の成果を業績報告書に記述していただきますので、それを想定して作成ください）

| **博士後期課程における研究構想と3年間の実施計画について具体的に記述してください（A4用紙1頁半以内）** |
| --- |

（研究計画続き）

|  |
| --- |
| **前記の研究構想がスマート社会の創出にどのように関連するか簡潔に説明してください。（A4用紙半頁以内）** |

【研究業績】

（記述部分は図表を含めてもよいので、分かりやすく記述してください）

|  |
| --- |
| **修士課程以降の研究業績について博士後期課程の研究構想と関連づけて記述してください。（A4用紙1頁以内）** |

**【学修計画】**

（図表を含めてもよいので、分かりやすく記述してください）

（年２回，この計画の成果を業績報告書に記述していただきますので、それを想定して作成ください）

| **募集要項「7.フェローシップ学生の義務」との関連において学修計画を記述してください。（A4用紙1頁以内）** |
| --- |

**【キャリアプラン】**

（図表を含めてもよいので、分かりやすく記述してください）

|  |
| --- |
| **博士修了後のキャリアプランについてスマート社会の創出と関連付けて記述してください。（A4用紙1頁以内）** |

（博士後期課程修了後のキャリアプランについて）

（スマート社会創出にどのように寄与できるか）